

第一部

「ツールドモンブラン 10日間」を8月28日～9月6日に行いました。

今年は人気のウルトラマラソン (UTMB) の開催が9月第1週になった関係で、私達一行をランナーが追い越して行くはずでした。ところがこの時を狙ったような寒気襲来で標高1800m以上は雪になりUTMBは部分開催に。そんな悪天候の中、安全を第一にツアーを続け一部ルートを変更したものの晩夏ならぬ初冬のツールドモンブランを楽しんで来ました。この10年間来一昨年のゲリラ雪を除きこの時期の天候は安定していたのですが??

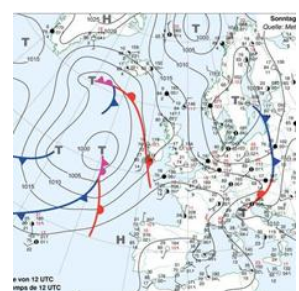


冬山に有らず

フルノコル 8月31日 午前8時12分撮影

○シャモニ～ボンノム

ハイキング初日はシャモニの谷越しにモンブラン山群が一望できるのどかなコース。今年はヤナギランやマツムシ草など夏の花がたくさん咲いていました。所で入山を控え天気予報を聞くと明日から2日ほどぐずつき、雷雨は無いが気温は低下するとの事。案の定、スタートから雨模様でボンノム小屋へ。所で中央下の写真はボンノムのコル直下の雪渓ですが何故かこの時期この10年間で一番の残雪量。尚、天気図は8/27日付、前線を伴って気圧の谷が接近中。



○ボンノム～エリザベッタ

早朝 4 時、観天望気で野外を見ると東の空に三ツ星のオリオン星座が。好天を期待したのですが出発時は暗く重めの空に。フルの科尔手前で雪が降り出し、あっという間に銀世界。1 時間遅れていたらこのルートは OUT、侵入不可状態。

かろうじて通過後、モッティ小屋で温かい昼食を取り、気を引き締めてセーニュの科尔へ向け出発。科尔はフランス・イタリアの国境で普段は風が抜ける寒い所。ところが風は弱く稜線からイタリ側は何故か殆ど積雪ナシ??



(フルノ科尔手前 8/31 日)



(セーニュの科尔手前 8/31 日)

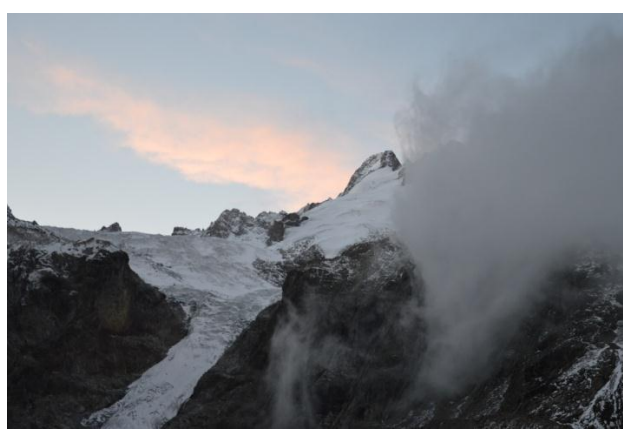


○エリザベッタ～エレナ

昨夕は薄く青空も見え回復を期待したのですが山の神のいたずらか朝起きると何と新雪 10cm 以上。コンバル湿原下部から右に登りシェクルイの科尔へ向かうルートはあきらめビザイル経由に。午後から漸く回復し始め悪夢の天候も終了に。アルプスは所により夏でも雪が降り、経験則から 2400m 辺りを境に積雪量が増えます。その一方で雪は 1 日もたたない内に大部分が解けてしまいます。参考まで。



(エリザベッタ小屋庭先 9/1 日)



(夕暮れのモンドラン 9/1 日)



次回はフェレの科尔（イタリア・スイス国境）、バルムの科尔（スイス・フランス国境）を越えシャモニ迄をお送り致します。

記 天溪 赤沼